

2024.4.27 Sat.  
— 6.30 Sun.



三重県立美術館

The 100th  
Anniversary of  
“Manifeste du  
surréalisme”

『シュルレアリスム宣言』100年

Surrealism

シュルレアリスムと日本

and Japan



開館時間 九時三十分〜十七時 \*入場は三十分前まで  
休館日 毎週月曜日(ただし四月二十九日、五月六日は開館)、五月七日(火)  
主催 三重県立美術館、中日新聞社  
協力 京都府京都市文化博物館、板橋区立美術館  
助成 公益財団法人ポーラ美術振興財団、  
公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協力会

1. 東郷青児《超現実派の散歩》1929年、SOMPO美術館 ©Sompo Museum of Art.2024 2. 北脇昇《独活》1937年、東京国立近代美術館 3. 浅原清隆《多感な地上》1939年、東京国立近代美術館

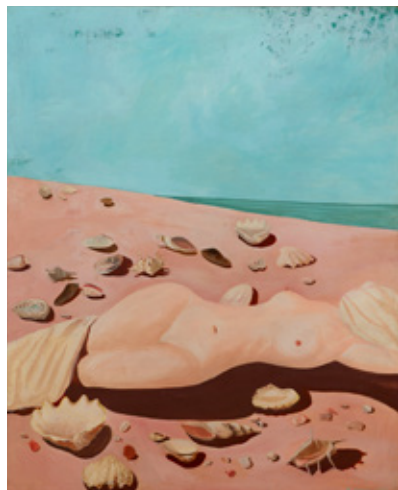
# シュルレアリスムと日本

## 激動の時代、先鋭的な芸術に 突き進んだ美術家たちの軌跡

今から百年前の1924年、フランスの詩人、アンドレ・ブルトンが「シュルレアリスム宣言」を発表し、現代文化に幅広い影響をおよぼした20世紀最大の芸術運動、シュルレアリスムが創始されました。人間の無意識や驚異の美を探求し、精神の自由と解放をめざしたこの運動は、やがて各国に広がります。

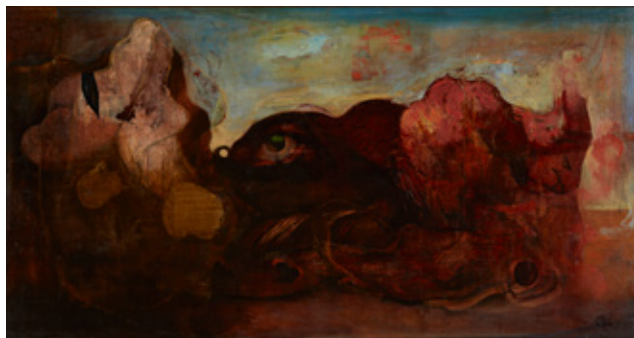
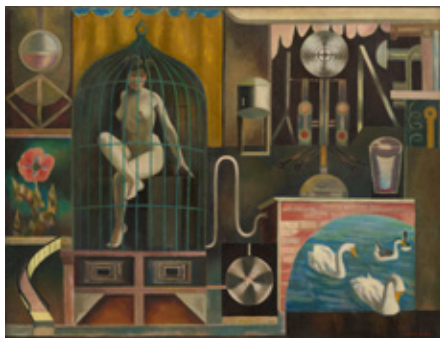
日本でも1920年代末から古賀春江や福沢一郎らがシュルレアリスムを導入し、30年代にはシュルレアリスムの絵画表現が盛り上がりま<sup>あいまつ</sup>す。三岸好太郎、北脇昇、鬘光、岡本太郎らが注目すべき創作を行い、画学生たちは前衛グループを結成して美術界の新しい勢力となりました。しかし、まもなく日本の軍国主義はこの運動を弾圧し、戦争で多くの画家の命が奪われ、散逸、焼失した作品も少なくありません。

この展覧会では、昭和戦前期における日本のシュルレアリスム表現を、現存する絵画、デッサン、写真など約90作家の作品および資料、総計約200点によって約30年ぶりに大規模に紹介します。



1. 福沢一郎《他人の恋》1930年、群馬県立近代美術館 2. 三岸好太郎《海と射光》1934年、福岡市美術館 3. 古賀春江《鳥籠》1929年、石橋財団アーティゾン美術館 4. 浜田浜雄《ユパス》1939年、東京国立近代美術館 5. 鬘光《眼のある風景》1938年、東京国立近代美術館

## Surrealism and Japan



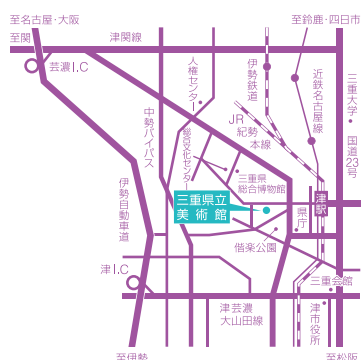
### 観覧料

- 一般 1,000 (800) 円
- 学生 800 (600) 円 高校生以下無料
- ( )内は前売および20名以上の団体割引料金
- この料金で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。
- 生徒、学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- 障害者手帳等(アブリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- 教育活動の一環として県内学校(小・中・高・特支)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。
- 毎月第3日曜の「家庭の日」(5月19日、6月16日)は団体割引料金でご覧いただけます。
- 主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブンなど

### 次回の企画展

長崎県美術館・三重県立美術館コレクション  
果てなきスペイン美術—拓かれる表現の地平  
2024年7月20日(土)～9月29日(日)

### 交通案内



三重県立美術館  
MIE PREFECTURAL ART MUSEUM  
〒514-0007 三重県津市大谷町11  
TEL: 059-227-2100 FAX: 059-223-0570  
https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/  
Follow us on X @mie\_kenbi

●ギャラリートーク  
本展の企画者である当館館長による展示解説です  
日時 五月十二日(日)、五月二十六日(日)、六月九日(日)、六月二十三日(日)  
各回とも十四時～(約二十分)

3「シュルレアリスムと名古屋」  
講師 副田一穂(愛知県美術館主任学芸員)  
日時 六月一日(土)十四時～  
参加費 無料(当日先着順(直接講堂にお越しください。十三時三十分開始します。))

2「京都とシュルレアリスム」  
講師 清水智世(京都府京都文化博物館学芸員)  
日時 五月十八日(土)十四時～  
各回 約七十分  
会場 三重県立美術館地下一階講堂  
定員 一百五十名

1「シュルレアリスムと日本という場所」  
講師 速水豊(三重県立美術館館長)  
日時 五月四日(土)十四時～  
5「三重の二人の前衛」  
講師 原舞子(三重県立美術館学芸員)  
日時 六月二十九日(土)十四時～

4「池袋モンパルナスとシュルレアリスム」  
講師 弘中智子(板橋区立美術館学芸員)  
日時 六月十五日(土)十四時～

### 会期中のイベント

\*手話通訳・要約筆記・その他支援をご希望の方は、二週間前までにご相談ください。

